

〔枝豆の品種選びと上手な作り方〕

枝豆には、一般白毛種、茶毛種（茶豆種、黒豆種、毛豆種）のタイプがあります。品種特性を見ながら品種を選んで作付しましょう！

〔品種の使い方〕

青森みどり（白毛 早生）

トンネル栽培や露地の早どり栽培等に好適。

酒の友（白毛 中早生 85日）

莢大きめで濃い緑、白毛で美しく、甘みがあり、収量性が高い。

酒の友3号（白毛 中晩生 90日）

食味の優れた白毛の中晩生種です。莢は濃緑色で見栄えの良い品種です。

はやいっ茶（茶毛 超極早生 77日）

トンネル栽培や露地栽培の早どり栽培に能力を発揮し、風味があり、おいしい茶豆です。

イチバン茶（茶毛 超極早生 86日）

茶豆特有の風味をもち、食味が優れています。茶豆の極早生種で、栽培容易な品種です。

茶香り（茶毛 早生 85日）

甘味香り共に強く、食味良い茶豆です。着莢数が多い品種で、8月下旬どりに適します。

黒五葉（黒豆 中晩生 90日）

黒豆の枝豆です。風味芳香豊かな中晩性種です。9月どりに適します。また、大豆として正月用煮豆にも好適です。

ひざ栗毛（毛豆 晩生 100日）

莢の毛が他品種に比べ多い品種です。風味豊かで大変味の良い品種です。



作型表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	品種
トンネル	●	▲		■				はやいっ茶、 青森みどり
露		●	●		■			はやいっ茶、 青森みどり
		●	●		■	■		酒の友、 イチバン茶
地		●	●		■	■		茶香り
			●	●		■	■	酒の友3号、 黒五葉
			●	●		■	■	ひざ栗毛

〔育苗のポイント〕

枝豆は、移植すると植え痛みで草丈が低くなりやすいので、直まきが望まれます。移植栽培する場合は、植え痛みしない工夫が必要です。

①育苗方法

「青森みどり」「酒の友」「はやいっ茶」「イチバン茶」の早生系品種では、移植での植え痛みによる減収が大きいので、セルトレイ等で育苗して初生葉の展開中に定植を終えます。

「酒の友3号」「茶香り」「黒五葉」「ひざ栗毛」ではこの他、地床育苗方法でも良いです。

覆土後、かん水して新聞紙等で覆います。発芽まで地温が18～24℃で管理します。低温状態、過湿状態では、発芽不良となります。

②畑の準備

施肥例（10aあたり）

肥料名	基肥	追肥	備考
堆肥	2,000 kg		
苦土石灰	100～150 kg		
苦土重焼燐	40 kg		
豆化成550	60 kg		青みどり、はやいっ茶、酒の友、イチバン茶の場合
硫安		20 kg	



③直まき

特に豆類は、播種後の過湿条件で、発芽不良と生育遅滞の原因になります。排水溝を設けて、ほ場の排水を図ってください。

直まきでは、雑草対策として、播種覆土後、「クリアターン乳剤」などを全面散布します。

④栽培管理

中耕、培土は除草、倒伏防止、根の発達、保水力のために行います。第1回目には、本葉2～3枚の頃、子葉の下まで培土し、第2回目は本葉4～5枚の頃、初生葉の下まで行います。追肥は、第2回中耕培土時に行う。

開花期の乾燥は、着莢、着粒が悪くなるので、乾燥する時はうね間かん水を行うことが有効です。

開花始めの頃から、2～3回、殺虫剤を散布します。それ以前でも害虫の発生具合をみて防除します。（例：アデイオン乳剤、トレボン乳剤等）

⑤収穫

莢の大部分が充実し、茎の上部にわずかの未成熟が残っている状態で過熟にならないように収穫する。

収穫作業は鮮度保持のため、気温の低い早朝に行い、蒸れないように工夫しましょう。